

岐大通 2010



today's guest

水戸ホーリーホック

2009 J2第8位
J2通算対戦成績:3勝2分1敗

■2009成績

第0節 09/04/11 水戸 3-3 岐阜
第1節 09/06/03 岐阜 1-1 水戸
第4節 09/09/19 岐阜 3-1 水戸

2010J2 順位表 ■第1節

(※消化試合が1多い)

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の
戦績(岐阜から見て)

1	柏	30p	+18	22	4	H●
2	甲府	26p	+12	25	13	H●
3	千葉	24p	+12	23	11	A●
4	鳥栖	22p	+5	16	11	A●
#5	熊本	22p	-2	13	15	A●
6	栃木	20p	+8	15	7	
7	徳島	19p	-2	18	20	A●
8	福岡	17p	+10	22	12	A○
9	大分	17p	+2	21	19	A●
10	愛媛	16p	+1	8	7	
11	水戸	16p	-2	9	11	
12	東京V	15p	+2	12	10	H●
#13	岐阜	15p	-8	11	19	---
14	札幌	14p	-6	10	16	H○
#15	横浜FC	12p	-8	16	24	
#16	岡山	12p	-8	7	15	
17	富山	10p	-11	13	24	H○
#18	北九州	09p	-9	5	14	A○
#19	草津	08p	-13	9	22	H○

次回 HomeGame

第1節

ファジアーノ岡山戦

6/12(土) 19:00

@長良川球技メドウ

投稿募集!

gidaidohri@hotmail.co.jp

F C 岐阜大好き通信(岐大通)

5/22号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:ささたく&吉田鎔造

■編集子より■

ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、
よろしくお願い致します。

◇とうとう『惜敗』も出来なくなってしまった…。 鳥栖 3-0 岐阜【第1節】

●F C 岐阜はアウェイで鳥栖と対戦し0対3で完敗。アウェイでも何とか食らいついて勝ち点を取る戦いをしてほしい!。サポーター一丸でF C 岐阜を応援しよう。F C 岐阜頑張れ!(ハマッチ)

●最低最悪だった柏戦よりかはまだ試合になっていた。それでも比較対象が柏戦だってだけであって、最悪な内容なのには変わりはない。

大きな原因としてボールロスト率が異様に高いが故のリズムの悪さが考えられる。その主因は選手の技術の拙さだ。その次の原因としてサイド攻撃を放棄して中央に拘る倉田さんの采配だ。昨日の試合で流れて一番期待を持てたのが前半5分の橋本のサイドチェンジからの最後は山内のシュートで終わったシーン。今年の岐阜はサイドを全然有効に使えていない。昨日のSHである西川にしても橋本にしても中央のほうがより持ち味は出る。数あるコンバートの中でも僕は西川のコンバートが一番失敗だと思っている。昨日の3失点は全て倉田さんの言うとおりの「チープ」なミスがモロに影響した。ここまで露骨にミスが失点に直結するのも珍しいが実際にチープなミスとしか言いようがない。ならそのミスが発生した理由はなにか?僕は先述のリズムの悪さ、技術の拙さ故としか言えない。ボールロストで相手のターンが増えることでDF陣への肉体的精神的負担は相当なものであろうし。従ってミスそのものを大きく責める気はない。次やったらその次はないよってだけだ。

この試合では阪本がデビューを果たした。このことは素直に祝福したい。彼のプロサッカー選手としてのキャリアが本当の意味ではじまったことになる。彼は僕が見た練習試合の松本戦、東海学園大戦でSHとしてプレーし、高卒新人として十分満足のいくレベルだった。この分ならそう遅からずデビューは出来るだろうけどまずはプロの体使いに慣れてからでも…と思っていたので思ってた以上に早いデビューに驚きもある。デビューできたことに満足せず、常時ベンチ入りを次の目標とし、出来れば今年中には先発も…って高い意識を持って練習に挑んで欲しい。正直言って昨日の収穫は阪本のデビュー以外なかった。

さて水戸戦。岐阜は富成と吉本と2名の守備の軸が出場停止となった。必然的に新しい選手を投入する必要があるがそれが誰になるかは今の時点ではわからない。だが固定化の傾向が強かった今年においてサブのメンバーのメンタルに心配な面があったが、2名も空きが出たことでまた新しい競争意識が芽生えるのを期待したい。万が一にも片山に決められて負けようもんなら僕はさすがに荒れるかもしれないなあ……。 (ジュニア)

●0-3とまたも完封負け。ここ3試合で9失点。また、ずいぶん大盤振る舞いをしたもんだ(苦笑)。前節・柏戦より多く点を取られたものの、点を取りそうな場面は少なからずあって、「もったいないなあ」というのが現地での感想。おまけに、ゴール裏から見ていて、3点ともこちらのミスで取られたような印象が強かったから余計にそう思ったんだろう。1点目のボールを奪われた場面は、録画を見直してもごくフツウの正当なチャージ。2点目は何でクリアできなかったのかが不思議な失点。3点目はトラップをミスって相手に渡し、そこから裏へのパスに反応したけど届かなかった。1対1であれだけ余裕を持たれたら、恭平でなくても止められない。特に1点目は、先取点を取られると厳しい現状の中、あのエリアでああいう奪われ方は弁解の余地がない。休養十分でフレッシュなはずなんだから。ただ、柏戦といい、この試合といい、前半の20分あたりで、ケガでもないのに交代するのはどうなんだろう? 洸一の時は、連戦で思った以上に疲労が蓄積してたというエクスキューズがあったかもしれないが、せっかくキャンプの時から積極的(?)に起用してきたルーキーだ。せめて、前半だけでも見守ってやってもよかったような気がしないでもない。確かに、先制された後失点にはつながらなかったが、なんとかCKに逃げた場面も、山内のパスミスからのカウンターだったし、1回ならともかく2回続いては……というところか。

この試合も何度となくサイドを破られた。とはいえ、今の戦い方はある意味「サイドはほっとけ」みたいなところがある。サイドはある程度は仕方がない。その分、中を固めよう。コンパクトにゾーンで守ろう。そんな感じにも見受けられる。もともと、「攻撃はワイドに、守備はコンパクトに。」というのは基本。それでも、サイドを高速のようにフリーに走られたうえに、真ん中のゴールにゲートが降りないんじゃ、いくらでも失点してしまうよね?せっかく、意図のある練習を繰り返して、組織的なサッカーをめざしているのにもったいないです。

そうそう、忘れちゃならないのが日々登場のマタドール。劇的な変化はなかったけれど、それでもいくつか決定的、あるいは効果的なパスを出すところはさすがだね。だから、受け手ももっと橋本のパスを意識して、サイドチェンジや裏を狙う姿勢を見せてほしい。ついでに、もうそろそろゴールを見せてくれるとウレシイです。(ぐん、)

【鳥栖戦については続きがあります。2ページめをどうぞ!】

◆あらゆる面が『決定的に』違った相手だった。いい面も、悪い面も。 岐阜 0-2 柏【第 1 節】

●F C 岐阜は長良川メドウで柏と対戦し 0 対 2 で完敗。ホームで勝てないのは残念。相手が上位でも勝ち点を拾えるようなサッカーをしてほしい。サポーター一丸で F C 岐阜を応援しよう。F C 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

●チケット全席完売の対柏戦。残念ながら 0 対 2 の完敗。ホームゲームは今年全て見ましたが、今期ホームゲームでは最低の内容。2 失点で守備は最後のところでは体を張ってよく守ったともいえます。攻撃は中盤でボールを奪ったところでの凡ミスで、またボールを奪われ攻められるという一番消耗するパターン。相手の攻守の切り替えの早さと言えませんが、ボールを奪ったときに逆に浮き足立つように見えるような場面も多く見受けられました。

疑問に思ったのは前半 23 分の佐藤 洸一から押谷 祐樹への交代。監督はパフォーマンスの問題と会見で答えていましたが、負傷などが無くて前半 23 分に交代しなくてはならない選手を先発に使うのは素人目にどう考えてもおかしいと思います。15 日間に 5 試合を戦うのは選手のコンディションは大変だと思います。一人一人のコンディションはチーム内にいないので分かりません。この前の「岐大通」にもありましたが、最近 5 試合で先発が違っていたのは対徳島戦（嶋田 正吾が押谷 祐樹）の一人だけ。もっと言えば 4 月 4 日からの 8 試合でも 6 試合が同じスタメン。この 11 人（厳密には 12 人）のパフォーマンス（コンディション）がそれ以外の選手のパフォーマンス（コンディション）に比べて 1 日間すべて上回っていたとは考えられません。

戦術的な問題もありますが、控えに回った選手のモチベーションを上げるためにも選手起用は重要だと思います（連戦連勝で首位争いをしているような状況なら別ですが）。日程は随分以前から決定していて、それについては分かっていたことです。結果論ですがフレッシュな選手を先発に使ったり、ゲーム展開にもよりますが 3 人の交代枠を効果的に使って連戦の疲れを溜めないような選手交代（ゲームプラン）が必要ではなかったのでしょうか。

柏戦での中盤での凡ミス、後半の運動量の低下を見ていてもその辺に原因があるように思えてなりません。サブの選手も含めて、全員で戦う F C 岐阜の試合を是非見せてもらいたい。1 サポーターとして感じました。（ユウジ）

●欧州には「エレベータークラブ」という言葉がある。エレベーターのように上（J1）と下（J2）を行ったり来たりするクラブのことを揶揄して造られた言葉だ。そういえば筆者が 2006 年に日立台で観た時もレイソルは J2 だった。しかしこのカテゴリではまた強さを発揮するのも事実（現にまだ無敗、失点 4 というのは脅威だ。）

キックオフ前にサポーターのマナー（？）のトラブルのような事があり、そのイライラの矛先は「選手への野次」となっている。先制点は野次を受けていた、小林 祐の正確なクロスから生まれた。キッカーは見えなかったが、F が、ゴール前のファウルでノーゴールになったシーンも非常にクロスボールの精度は高かった。

対して岐阜は、マイボールをすぐ失う、クサビが収まらない、押し上げが遅いとかこれでは零封も必然である。「3 年で J1 昇格を目指す」のなら今日の柏レイソルのようなクラブのように、もっともっと一つ一つのプレイを向上させなければならぬ。難しい事は要求されていない。ただ、プレッシャーのかかった中で、スピーディーな展開の中でどれだけ出来るか、というのが今の順位、そして下位からは白星を拾えるが、上位陣には全滅、という岐阜の現在の力のなさなのだろう。これでは J2 を争うチームなどにはなれないのは自明の理。

ただ、悲観論ばかりを並べるつもりはない。今日は、現時点での J2 最強チームから、「フットボールのレッスン」を受けたのだと思っている。人間は失敗から学べる生き物だ。筆者自身が今シーズンは土台固めのシーズンだと思っている。この敗戦を糧に、一人一人が、「今何が必要か」考えて、また次のゲームへと向かっていって欲しい。まだ J2 は 1/3 を消化したところなのだから。（スヌーピーと一緒にメドウに観戦に来てるオチャメな 26 歳独身男（笑））

●力の差を痛感した試合でした。負けたのも残念ですが、それ以上に残念だったのが一部の柏サポのマナー違反でした。「負け惜しみ、八つ当たり」と自分達の非を認めない彼らの言動には苛立ちを感じますが、僕達も「相手がやってくるから」と同じようにスーツケースを太鼓代わりに叩いたり、警備員の言う事を聞かなかったりと残念な事もありました。他にも個人的にですが、相手選手に対する汚い野次が聞こえましたが、ブーイングと罵声とは違うのではないかと思いますし、小さい子供が怖がって次から来ないかもしれないと思いました。

腹立たしくて「あいつらに止めるように言えよ！」と言いたくなる気持ちは分かりますが、「あっちもやってくるから、よそじゃ当たり前」なんて子供じみた事を言っていないで、僕達も反省すべき事は反省すべきです。不満などの負のエネルギーは応援に向けるべきです（人数の割に声が出てないという指摘がありましたし）。今回の一件は、僕達のマナーを見つめ直すのにいい機会だったと思います。（ブラウ@翠魂）

●F C 岐阜のチーム史上最悪の負け方だったかもしれません。数字だけだったら 0 8 年に広島に 1-7 とか C 大阪に 0-6 とか喰らってますが何も出来ない、何もやれないってほどではなかったと記憶しています。

今の F C 岐阜はサッカーの過渡期にあると自分は思ってますが、それを免罪符にするつもりは毛頭ありません。ピッチから自信喪失状態の選手達が狼狽する姿を見るためにお金払ってきているわけではない。自信を持って躍動する姿をみたいのです。

その「下地」になるものが完全になくなってるなあ……と、寂しい想いがした試合でした。（ジュニア）

●こんな試合、ずいぶん久しぶりだよなあ……、というか、ここまで完璧なハーフ・コート・マッチはめったにお目にかかれな。同じカテゴリで、ここまでやられたのは初めてだ。スコアこそ 0-2 と珍しくもなかったが、初年度の 1-7 も 0-6 もここまで一方的じゃなかったからね。柏・GK の菅野なんかウチの選手が蹴ったボールより、味方のバックパスを触った回数の方が多かったんじゃないかな？

柏の選手が特別に上手いというわけではないが、それでもここまで戦った中ではダントツのレベルだった。それにしても、恭平のキックを競り合って柏の DF が勝つ。そこまではわかるんだが、そのボールはすべて柏の選手の足元に納まり、そこからまた攻撃が開始される。考えてみれば、洸一はすでにベンチにいて、競り合うのが押谷、そして正吾じゃ結果は見えてるとはいえ、恭平のキックが柏の攻撃の進軍ラッパみたいなもんだ。文字通り「グウの音も出ない」ヤラレ方。あれで 2 点しか入らなかったのがおもしろいところだ（苦笑）。これだけのサッカーができて、ここまで無敗の首位でも J1 じゃ力不足。それほどにトップ・リーグの敷居は高い、と見るのか。それとも、これだけでいいんだから（監督もネルシーニョだし）J2 なんかに来ちゃダメだよ、それも 2 回も……、なのか。オマケに柏はまだフランサを隠してるんだからね。実に強烈な衝撃を与えてくれたクラブだった。試合前から終わった後まで、実にね。

とはいえ、アレが J1 仕様のかわり、カレらが独特なかわかりたくない。そんなことより、相手がどこであれ、ヤラレっぱなしでええのは面白くない。幸い、アウェイ・日立台での試合が残っている。あの黄いナイヤツに目に物をみせてやろうぜ！（ぐん、）

●柏はサイドを広く使い、ボールをダイナミックに動かす。中央付近でパスを出した選手がさらにその先斜め前に走りこむ。必要と判断すれば慌てることなく機能的なバックパスも使ってウチの選手をいなす。まさしく人もボールも動くサッカーだ。

対して岐阜はどうだったか？とにかくボールがつかない。苦し紛れに蹴りだしたボールが相手に阻まれ守勢に回る、その繰り返し。やりたいことが「出来ない」のか？それとも「見えていない」のか？進化するために点検すべきポイントがとてたくさんあるということだけはよくわかった。

（ST57）

●スタメンに“緑のマタドール”橋本が復帰。今日はなにがやってくると期待せずにはいらなかったのだが・・・自分たちのミスが、そのまま失点に繋がるという典型的なゲームをしてしまった。それにしても倉田さんはなぜ同じミスをしたのだろう？確かに山内のところからボールを奪われてピンチを招いていったのは事実だが、あんな代え方をしては本人が自信を失ってしまうと思う。それ以前になぜスタメンで使ったのかという疑問も沸いてくるが。これで3連敗。日頃の練習で選手同士の、選手と監督、コーチのコミュニケーションはきちんと取れているのだろうか？練習のための練習になっていないだろうか？今日は水戸戦、吉本と富成が出場停止に押谷がU-21遠征で不在と非常に厳しい台所事情ではあるけれど、鳥栖戦の後半にプロ初出場を果たした阪本のように、新たな若い力が澆刺としたプレーを見せてくれることに期待している。

相手の水戸にはご存知“ガチャ”片山真人がいる。吉原宏太が出場停止だけに、今節もスタメンで登場する可能性もあるだろう。先日移籍初ゴールを決めて、今気持ちは乗っているときかもしれない。ガチャのプレーを見られることは嬉しいけれど、ここはキッチリ抑えてホーム長良川メドウでリスタートというこ！(岐阜の誇り)

●またしても複数失点での完封負け。相手に崩された、というより自分達のミス連発で自滅した負けに感じました。失点しても最低限引き分けに持ち込める攻撃力があればいいのですが、ほとんどなく、攻守共に悪いところが最悪の形で出た試合でした。橋本のスタメン復帰が唯一の救いですが、相変わらずの悪癖が出てばかりで、いつになったら昨年魅せてくれた岐阜らしい試合を見る事ができるんだろうと不安と不満が募った試合でした。本当にいい加減にしてほしいです！(ブラウ@翠魂)

手拍子でF岐阜を応援しよう！

●今季、われらがF岐阜のホームである『長良川球技メドウ』は、残念ながら太鼓やラッパなどの、いわゆる『鳴り物』が禁止のスタジアムです。このため、応援のチャントやコールの手拍子や声を揃えていただくのが、今までより難しくなっています。

そこで私たちは『黄色のテープを貼ったメガホンを持った者』をバックスタンドに幾人か配置し、応援の目安にしたいと考えています。より迫力のある手拍子と声で、選手の後押しをしたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。(サポーターズクラブ：G-style)

【口蹄疫被害】

募金活動へご協力をお願いいたします。

●現在、宮崎県内の畜産業者の方々は口蹄疫への対策で日夜大変な苦勞をしています。宮崎県はF岐阜のキャンプ地で、今年も宮崎牛をはじめ、数々の特産品を差し入れていただきました。また、2006JFL入れ替え戦の地・都農町は、今回の口蹄疫災害の発端の場所でもあります。このように、クラブと何かと縁のある宮崎県に、私たちが何か手助けはできないのか、そう思いました。そこで私たちは、「宮崎県口蹄疫被害義援金」への募金を、総合案内所付近にて、クラブと共同で呼びかけさせていただきます。みなさんのご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

F岐阜サポーター有志一同
代表責任者 G-style: 佐々木 拓



本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

【ユース（U-18）も頑張っています】

●春になり、トップ、セカンドだけではなくF岐阜ユースU-18（以下「ユース」）の公式試合も始まっています。他のチームが3年生主体のチームで戦っている中、設立2年目の「ユース」は1・2年生のみで戦っています。これは育ち盛り・伸び盛りの高校世代では圧倒的に不利な筈ですが、彼らは一生懸命に頑張っています。まずは「日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会」。この大会の東海1次予選リーグに参戦しています。4月29日に始まった総当りのリーグ戦を戦っていましたが、見事3位で予選リーグを突破しました！次は5月30日から始まる2次予選トーナメント。ここで上位2チームに入って全国大会に進むのは難しいかも知れませんが、一つでも吸収できる物を得て帰って来て欲しいです。

一方「ユース」は岐阜県内の高校同士での公式戦である「Gリーグ」に昨年参戦しています。昨年参加した「G3リーグ」は見事一年で昇格を果たし、今年は一つ上の「G2リーグ」に参加しています。4月から9月にかけて全10チーム総当りのリーグ戦を戦い、成績上位2チームが一つ上の「G1リーグ」に自動昇格、下位4チームが「G3リーグ」に自動降格となります。これまで2試合を戦い、2戦2敗と苦しいスタートとなっていますが、選手と話をするところから全勝すれば十分昇格出来ますから頑張ります！」と力強い事を言ってくれます。

トップチームの試合の日にはグリーンズと一緒にスタジアム運営に参加して頑張っている彼らの活躍を今年も見守って行きたいと思います。(シュナ)

【セカンドも頑張っています】

●東海社会人リーグ2部が始まり、F岐阜セカンドは2試合を消化。1部から降格してきた2チーム（トヨタ蹴球団・コニカミノルタ豊川）を相手にともに1-1の引き分けでした。公式サイトにもありますが、D登録選手が少ない中でもがんばって戦っています。

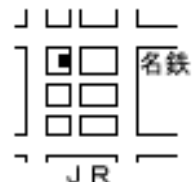
天皇杯・全国社会人の県予選は、残念ながら決勝でN可児に敗れ、「2位」として秋の天皇杯最終県予選や全国社会人東海予選に進むことになりました。東海地区予選は昨年の東海リーグ1部覇者の矢崎バレンテと同じトーナメントに入りました。7月第1週末に行われる東海予選に勝つと、全国社会人の本大会（山口県）に2年連続出場となります。この「全国社会人大会」は、来年は岐阜県開催ですので、経験を積む意味でも是非も東海予選を勝ち上がってほしいと思います。皆さんもセカンドにもご注目ください。

(吉田鑄造)

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅
から徒歩3分。

休：日曜日
(今日は営業しています)



ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

長良川球技 メドウを10倍楽しむ方法

みんなの手拍子で



選手に力を!
～ご協力お願いします～

タオマフ大作戦!



選手入場時 ... 高く掲げよう
ゴールチャンス ... 大きく振り回そう

ここ長良川球技メドウでは、太鼓などの鳴り物を使った応援ができません。しかし、選手の息づかいが聞こえそうなほどグラウンドまでの距離が近く、目の前で繰り広げられる真剣勝負にきっと気持ちは高まるはず。ウズウズしてきたら「手拍子」や「タオマフ」(タオルマフラー)で選手を勇気づけましょう。たとえひとりのアクションは小さくても、隣の人と、前後の人と、みんなでいっしょに応援すれば、大きな力になって、選手だけでなくあなたのハートもさらに熱くさせること間違いなし。「メドウ劇場」では、観客のあなたも大切なキャストなのです。

1人でも多くの方に楽しんでいただくために

席をつめてお座りください



↑ 荷物は足元をご利用ください

通路での観戦は ご遠慮ください



小さなスタジアムなので、席もスペースも限られています。みんなが気持ちよい時間を過ごせるように、ひとりひとりがマナーを守って観戦してください。